



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス
 コード番号 4761 URL <http://www.kcs.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岸川 和久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 山本 修嗣
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 078-391-6571

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,967	2.8	△186	—	△167	—	△130	—
23年3月期第1四半期	3,861	△9.0	△357	—	△334	—	△231	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △160百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △207百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△11.67	—
23年3月期第1四半期	△20.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,563	—	13,615	—	13,615	77.5
23年3月期	18,711	—	13,843	—	13,843	74.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,615百万円 23年3月期 13,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	6.00	—	6.00	円 銭	12.00
24年3月期	—	—	—	—	円 銭	—
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	円 銭	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	6.1	70	190.3	100	35.6	40	137.3	3.57
通期	22,000	6.9	600	22.7	650	13.3	370	22.5	33.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	11,200,000 株	23年3月期	11,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	494 株	23年3月期	494 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	11,199,506 株	23年3月期1Q	11,199,506 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び連結子会社（以下、「当企業集団」という。）の当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、情報化投資に対する顧客の慎重姿勢は依然続いているものの、金融関連部門などで工事進行基準を適用する大規模システム構築案件が増加したことを主因として、売上高は3,967百万円と前年同四半期比106百万円（2.8%）の増収となりました。

損益面につきましては、原価率の改善を主因として、営業損失は186百万円と前年同四半期比171百万円の増益、経常損失も167百万円と前年同四半期比167百万円の増益となり、この結果四半期純損失につきましても130百万円と前年同四半期比100百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 金融関連部門

三井住友フィナンシャルグループ向け取引が堅調に推移したことから、売上高は1,173百万円と前年同四半期比88百万円の増収となりました。

② 公共関連部門

大手ベンダー向けシステム構築業務は堅調に推移しましたが、自治体関連商談が減少したことから、売上高は882百万円と前年同四半期比109百万円の減収となりました。

③ 産業関連部門

大手ベンダー向けシステム構築業務、及び、ERPソリューション業務が増加したことから、売上高は1,910百万円と前年同四半期比127百万円の増収となりました。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があり、売上高が第1四半期（4～6月）及び第3四半期（10～12月）において減少し、第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比1,147百万円減少して17,563百万円に、純資産も前連結会計年度末比227百万円減少して13,615百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.5%増加して77.5%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に発表いたしました第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,201	3,721
受取手形及び売掛金	5,796	2,433
有価証券	4,000	3,000
商品	55	136
仕掛品	317	749
貯蔵品	25	35
その他	766	870
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	12,161	10,946
固定資産		
有形固定資産	3,703	3,759
無形固定資産	526	527
投資その他の資産		
投資有価証券	1,378	1,330
その他	951	1,009
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	2,319	2,330
固定資産合計	6,549	6,617
資産合計	18,711	17,563
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,879	1,108
未払法人税等	122	16
賞与引当金	671	332
その他	925	1,196
流動負債合計	3,599	2,653
固定負債		
退職給付引当金	502	445
役員退職慰労引当金	113	73
資産除去債務	10	10
その他	642	766
固定負債合計	1,268	1,294
負債合計	4,867	3,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	9,473	9,275
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,756	13,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	56
その他の包括利益累計額合計	86	56
純資産合計	13,843	13,615
負債純資産合計	18,711	17,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,861	3,967
売上原価	3,338	3,265
売上総利益	522	702
販売費及び一般管理費	880	888
営業損失(△)	△357	△186
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	15	17
不動産賃貸料	18	18
雑収入	7	5
営業外収益合計	43	42
営業外費用		
支払利息	8	8
不動産賃貸費用	10	9
雑損失	0	5
営業外費用合計	20	23
経常損失(△)	△334	△167
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	—	33
投資有価証券評価損	0	—
事務所移転費用	27	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6	—
特別損失合計	33	33
税金等調整前四半期純損失(△)	△367	△200
法人税等	△136	△69
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△231	△130
四半期純損失(△)	△231	△130

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△231	△130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	△29
その他の包括利益合計	23	△29
四半期包括利益	△207	△160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△207	△160

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,085	992	1,782	3,861	—	3,861	—	3,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	4	125	143	—	143	△143	—
計	1,099	996	1,908	4,004	—	4,004	△143	3,861
セグメント利益又は 損失(△)	98	70	26	196	—	196	△554	△357

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△554百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,173	882	1,910	3,967	—	3,967	—	3,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	19	168	191	—	191	△191	—
計	1,176	902	2,079	4,158	—	4,158	△191	3,967
セグメント利益又は 損失(△)	191	54	111	356	—	356	△543	△186

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△543百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。